2011.3.31発行 奄美野生生物保護センター

〒894-3104 鹿児島県大島郡大和村思勝551 TEL:0997-55-8620 FAX:0997-55-8621

編集・発行 電美包懸体験活動推進 協議会 通答UO号

奄美野生生物保護センター ニュースレター

# 奄美の風だより



今年はヒカンザクラの開花が例年より少し遅かったようです。スモモの開花は例年通りでしたので、ヒカンザクラが満開に咲いている中でスモモの白い花が映えて、とてもきれいでした。

3月に入り、黄緑色が美しい新緑の季節になりました。モコモコした山の景色は奄美に春の訪れを教えてくれます。奄美では主に常緑広葉樹が生育していますが、常緑広葉樹は新芽を出すとともに、古い葉を落とします。そのため春から梅雨に入る頃にたくさんの落ち葉が積もります。暑い中、汗をかきながら落ち葉掃除…。亜熱帯の島ならではの光景ですね。

まだ汗をかく時期ではないですが、あと1ヶ月もすればジメっとした暑い季節がやってきます。 あっという間に長袖から半袖に衣替えでしょうか。過ごしやすい気候を少しでも満喫したいですね。 (吉田)



## 奄美の早春の動植物



### ミサゴ

主に冬鳥だが越夏するものもいる。海岸や河川 の上を飛び、ホバリングしながら魚をさがす。 飛ぶと翼やお腹の白い色が目立つ。

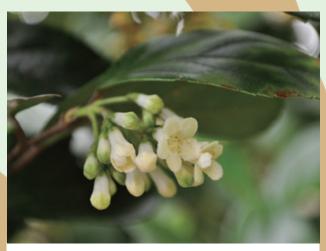


ホシコミミズク 頭部が長く竹べら状に前に突出している。奄美 ではあまり観察されていない。



### ヒヨドリ

奄美にずっといる亜種アマミヒヨドリではなく、 冬になると本土から飛んでくる基亜種ヒヨドリ。 今季は飛来数が多かった。



### ゴモジュ

花には芳香があり、生垣や庭木として利用される。名前の由来の一つが「御門樹」。琉球の王城の門前にあったところからきている。



### 今季の一枚「アマミイシカワガエル」

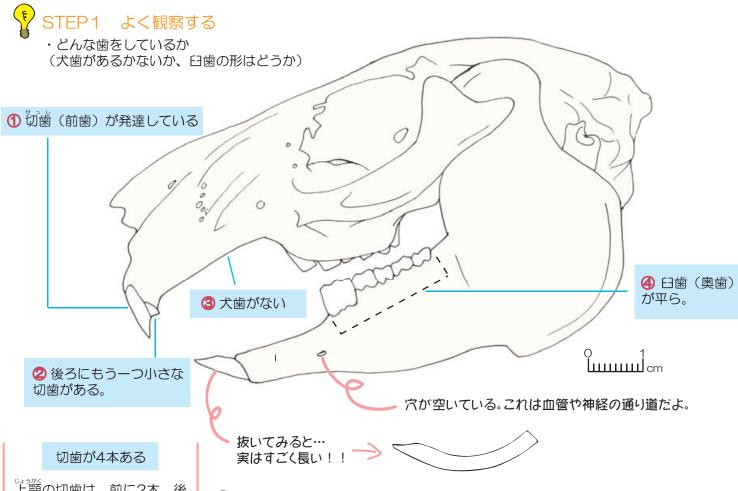
最近まで、同一種とされていた沖縄産と奄美産のイシカワガエル。しかし、遺伝子分析を行ったところ異なる種だと分かり、奄美産のイシカワガエルは「アマミイシカワガエル」となりました。イシカワガエル以外の生きものたちも遺伝子分析をしていけば、奄美固有の生きものとして新種に記載されることもあるでしょう。奄美の生きものたちの固有性がいかに高いか改めて知らされる出来事でした。

イシカワガエルは1月~5月が繁殖期です。渓流の岩の隙間からオスがメスを呼び、メスはそこで卵を産みます。オスは「ピュー」と甲高い声で鳴きますが、鳴き声の練習をしてからメスを呼びます。練習中の声は少し間抜けな鳴き声だそうです。

### 骨からみえる生きもののふしぎ

奄美野生生物保護センターでは、調査のために山に入る機会が多くありますが、その際に動物の骨を見つけることがあります。骨にはその生きものの情報がたくさん詰まっています。その骨を観察することによって、体の一部であっても何の生きものなのか判断できることがあります。骨から生きもののふしぎをみてみましょう。

下に描かれている頭骨は何の動物かな? 調べてみよう!



上顎の切歯は、前に2本、後 ろに小さなものが2本。合計 4本あります。

切歯が4本あるため、げっ歯 目とは区別されウサギ目と して独立しています。



### STEP2 推理する

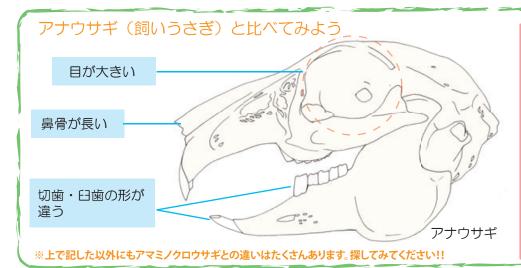
①、③、④は草食動物の特徴 ②はウサギの特徴



この地域に生息しているウサギは

アマミノクロウサギ

※しっかり調べるには、骨の図鑑などで目の位置や下顎骨の形などをみる必要があります。



### スカスカの頭骨

アナウサギやノウサギの頭骨はスカスカに穴が空いて、とても華奢な作りになっています。これは天敵から逃げるために、体を軽くする必要があったためです。それに比べアマミノクロウサギは、華奢な作りにはなっていません。

同じウサギの仲間であるアマミ ノクロウサギとアナウサギです が、見た目や生態が異なるよう に頭骨などにも大きな違いがみ られます。

# 🗼 センター & 協議会 News 🦘



### わきゃあまみ第10弾「奄美の危険な生きもの」

奄美自然体験活動推進協議会と奄美野生生物保護セン ターは、奄美群島の児童や地域の方々に奄美の自然や生 きものについて知ってもらうため毎年1回「わきゃあま み」を作っています。今年度は第10弾として「奄美の危 険な生きもの」の下敷きを制作しました。海と山の危険 生物を写真とともに紹介し、応急処置や危険な部分を解 説しました。

配布場所は主に奄美群島内の小学校となっております が、若干の余部がございますので、ご希望の方はご連絡 下さい。







### 奄美の風だより通巻39号の訂正とお詫び

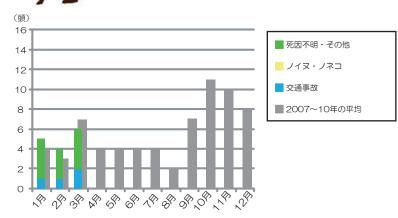
奄美の風だより通巻39号の「生きもののいる風景」の中で、「尾羽」と説明するところを、誤って 「風切羽」としてしまいました。

×誤り【風切羽】

○訂正【尾羽(おばね)】体のバランスを保ち、飛翔中には舵取りやブレーキの役割を果たす。

以上のように訂正して、お詫び申し上げます。

# クロウサギ死体確認数



### 2011年 アマミノクロウサギの死体確認数と死因

### アマミノクロウサギのために、

### あなたができること

### 安全運転

林道では、20km/h以下で走行しましょう。

### 犬・ねこの適正飼育

最後まで責任を持って飼いましょう。

※アマミノクロウサギがケガをしていたり、死んでいるのを 発見したら奄美野生生物保護センターまで連絡して下さい。

### 生きものおもしろ写真館



#### ギンカガミ

平べったく丸い体がなんともユ ニークなお魚です。主に西日本 でとれ、刺身や干物として食べ られるそうです インド洋やハワイなどにも生息

しています。一属一種。

### 編集後記

本州ではウメにメジロですが、奄美 ではヒカンザクラとメジロがお馴染 みの風景です。奄美に来てすぐは、 馴染みのない風景に驚くばかりでし たが、当たり前のようになってきた 5回目の春。でも、まだまだ知らな い風景はたくさんあります。新たな 風景をたくさん見つけていきたいな と思います。

奄美自然体験活動推進協議会 〒894-3104 鹿児島県大島郡大和村思勝551 奄美野生生物保護センター 电美目然体験が到推進協議会 T694-3 104 超光局線入局部入外的高級の「电美野生主初体機とブラー TEL:0997-55-8620 FAX:0997-55-8621 Email:amami\_rabbit@public-yamato.jp (事務局)大和村役場総務企画課 URL:http://www.villyamato.lg.jp/shizentaiken/default.asp